

大阪国際サイエンスクラブ

第9回 若手学識者との異分野交流会

「グリーンケミストリーを指向した反応開発
～二酸化炭素の有効利用を中心に～」

現在、日本が取組むべき大きな課題として「脱炭素」が掲げられています。その重要な取り組みとして、二酸化炭素を炭素源として回収し、多様な炭素化合物として再生することで二酸化炭素の排出量を減らす、カーボンリサイクルが目指されています。それに加えて、植物などのバイオマスの利用による二酸化炭素排出の抑制も有効な手段として考えられています。例えば、菜種油などを原料にして製造されるバイオディーゼルは、化石燃料の代替燃料として期待されています。

当研究所では、これまで二酸化炭素の有効利用をテーマに、医薬中間体などの原料として利用することを研究してきました。本講演では、二酸化炭素の話題に加えて、バイオディーゼルの生産で大量に副生するグリセロールにも焦点を当て、それらの両者を用いる、カーボネート系電解液や可塑剤合成などについてもご紹介します。

併せて本講演では、電子レンジでおなじみのマイクロ波加熱を用いた有機合成の魅力の一端についてもご紹介します。マイクロ波加熱は、化学プロセスのグリーン化に貢献でき、現在では、有機合成における新しい加熱法とみなされています。ここでは、先行事例も含め、我々が行ったマイクロ波加熱と無機多孔体を利用した反応開発について解説します。

なお、今回は、新型コロナ感染症拡大の影響を考慮し、Zoomを活用したWeb講演の形式とさせて頂きます。参加を希望される方には、事前にZoomへのアクセス方法をメールにてご案内します。また、ネット環境がない方のために、大阪科学技術センタービル会議室でのご聴講も準備します（ただし、Web聴講のみとなる場合もあります）。

皆様のご参加をお待ちします。

記

1. 日 時：2021年3月25日（木） 16:00～17:15
2. 場 所：Zoomによる聴講、または大阪科学技術センタービル 6階600号室
3. 講 師：三原 正稔 様（大阪産業技術研究所 有機材料研究部 主任研究員）
4. 司会進行：小川 昭弥 様（大阪府立大学教授、大阪国際サイエンスクラブ集会委員）
5. テーマ：「グリーンケミストリーを指向した反応開発～二酸化炭素の有効利用を中心に～」
6. 参 加 費：無料
7. 申込み方法：申込書欄に必要事項をご記入の上、FAXまたはe-mailでお申し込み下さい。

～三原正稔様のご紹介～

- 1997年 大阪大学大学院工学研究科物質化学専攻博士課程前期修了
 同 年 大阪市立工業研究所 有機化学課研究員
 2006年 博士（工学）大阪大学
 2017年 大阪産業技術研究所 有機材料研究部 研究主任
 2019年 同 主任研究員



FAX : 06-6441-0459

または、e-mail:science@isco.gr.jp 大阪国際サイエンスクラブ事務局 行)

若手学識者との異分野交流会（3/25）

どちらかに○をつけて下さい。

- Zoomによる聴講
- 会議室での聴講

氏名・団体名：

所在地：〒

TEL : () — FAX : () —

e-mail :

氏名	所属・役職	e-mail

※ご連絡頂いた個人情報は、本事業のご案内及び当クラブに関連する講演会・見学会等のご案内以外には使用致しません。

■大阪方面よりお越しの場合

- 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車
28番出口より北へ徒歩3分

■新大阪方面よりお越しの場合

- 地下鉄御堂筋線「本町」駅下車
2番出口より西へ徒歩7分

■なんば方面よりお越しの場合

- 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車
28番出口より北へ徒歩3分
- 地下鉄御堂筋線「本町」駅下車
2番出口より西へ徒歩7分

